進發江戸日記

壬子十一月朱
寅二月末迄

特別
リ5
15702
3

り5
15702
3

東京帝国大学

十月廿五日

はなを城、

ふるさとの西さもぢ

一ト枝をりつけを手

ふるひもよくこんな形

つとるもちろんまんぢゅして

さらさらとけのとのこぞさやかに

○金田屋の弟右三月彩

るてはこれいろと思ひ

の中りうりのいけだ

江戸思ひてちがいそ

大好うなるやそい形ぞ

ふん失とおもふ代

ひろ枝うの

に角こ

もちのけぞ

ハ罪ろん

ぶん

移

ちがるよを

ぶんざを

ぶりぶり

ぶりぶり

ぶりぶり

○はるの中ゝ紅梅のつぼみ根よりあく事ゆうくむちうく
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

卯月元日晴時時曇元旦入湯上山寺福田寺
三寺を詣る　寺を出て　知多郡
世保浦　庭の芝十五十中の内人なく田と
畑と見へ桃の木多く紅白の梅多し
ちづらして　朝ごとの声うぐひすの声とて
鶯のこゑ　雲雀　ひばり　流の人は昼ぶべし
流の人は昼ぶべし　世をいとはもて
朝は寒し　二日晴　城ハ内　城ハ内退出

布衣の上とる所に百人こえて一こん仲間よりあすこ
入　御子兵衛　長右衛門　長右衛門　口上ニ
仲間ゐてくべきよし長屋中へ中国ニ中仕事
遊ぶ　ニ　ものもこざいもつてくさいもつてくさ
ぶくこまりかけ勝うたりけるもつてぐく
みの中ニ　俳諧をうづこ二ツ
おもしろ　ちうこの近も諸国ニ世ニ
入　常て休ゐ

上

陸奥国

上総国

下総国

武蔵国

相模国

伊豆国

駿河国

遠江国

甲斐国

信濃国

美濃国

飛騨国

尾張国

伊勢国

伊賀国

志摩国

大和国

山城国

丹波国

丹後国

但馬国

因幡国

伯耆国

出雲国

石見国

隠岐国

播磨国

美作国

備前国

備中国

備後国

安芸国

周防国

長門国

紀伊国

和泉国

摂津国

河内国

淡路国

阿波国

讃岐国

伊予国

土佐国

筑前国

筑後国

肥前国

肥後国

日向国

大隅国

薩摩国

壱岐国

対馬国

佐渡国

世諸国の産産くもちうのより又紅梅の
ハこもなるとこさうりはさ樹でたり又白の梅ハ
世ハ花とれとへ用ゐ遠山地ものもとなりめ耳
るハぴぢりぷぢす。をちどりの声ハこさく口ハうす茶
羊かんと食ひ強ちをれの茶貧きて面白くも
うりぢんとすると面白くばさこ生ぢぐ
町へんのハぢゆりなるともるうちぶきれども世ハ
茶ハ茶人のなくべきあし又風流なり平ハちふこれと毛
すす　御ちちちけ世ハおそ

陽　字令土月時ハ腊るよもうの為ハ
四日子時ハ
四五月初夏さあくもけ
きもの年始ハ
ハもうきもの

[illegible]

上ゞ

今年の[illegible]

[illegible]

中ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十二月[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

廿日ばかりとなる日記

[illegible]

十月廿日ばかりとなる日記

[illegible]

○こゝろ墨ばかりの書面夜ばかりでふつ

十二月廿三日ばかりとなる日記

[illegible]

廿五日ばかりとなる日記

[illegible]

十二月ばかりとなる日記

[illegible]

風邪ばかりの書面ばかりとなる日記

[illegible]

○ばかりの書面ばかりとなる日記

[illegible]

七日ばかりとなる日記

[illegible]

[illegible]

日こう藩名の家ふそでかりこしたくしじやし
あさふあぐさこはてしこ胡ここの上で
ふて吹へんとさきもしひだりの声くさくさ中
あぐくと切アん又男はうすの家のをなる風呂
とさて
㊏ 病ごこうひだりの声や始うすて
③月よもつ四年のはつ元ぐ日蓮の
えなの藩名ぶたはかのさてむこまつ名のふれど何
あくす町家もゆくされば買物あて町ふむふあれど何
むりし
八日 市町半月ゑ三十
とるか町下れこ状をす五を俗ケてを俗

をとうとれば六十余の
高さ三尺四寸ばかりの
ものなり 高地又彼方
女八五十計りとうぐでるひ
ゝ又ありとるぜんかれちゆうもん
ひぢりめんと
ちくのとうけ
下ヤケ
ぢ

城

九つより
城
九つより馬ゝをふあるこゝハつ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
桃林行
桃八月のうぢり
ハ
のうすゝのも

花ゝけるよさゝ
又梅ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

十四日 雲[illegible]

夕時分 [illegible]

[illegible]

十五日 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

[illegible]

○侍もちとらなぐや十八下もものれれるうに立て名所と
[illegible]又は仮とをを[illegible]のまわりまわり
一向うえ八ヤさにはばさ
[illegible]きらくさいえて[illegible]
くとあ[illegible]ちちちちかして
つくもさまでいえのくうつ
ものもとそれ大きな花はけ
[illegible]花はぬむとあるやや
とるいかりいかに石橋ゆき
[illegible]橋水ぜんなくさんつけ
[illegible]をこんとなるのやこ
[illegible]なぐさやん
[illegible]ありこもどてまだねん
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]桃さざんつ
又はなる菜のもな沖し芋
ヤスるこ[illegible]
さ[illegible]
こもやんいくちるもも
ぶなのつてもよ[illegible]
さ[illegible]
中もちなれ又ちなれさ
[illegible]自ぶそでぐ[illegible]
[illegible]
[illegible]方様いさぐ[illegible]
ごこくも 御成[illegible]
[illegible]
[illegible]

御覽ニ　御成仕ぜられ候ハ、新なるべし町もあるべき
又いかもん堂ハ　ハ　ハ　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○此夜丁ばあ様ばかり迎ひ来て
○うすくもりくらく
十七夜
十五夜の月
心なきさかりもしらぬ
ありてはあらぬのまちのいのぶの
はるかに古ものこころ
つのもの
なるはあらぬ
やうあれば秋のどさ心なきさとと
こまれるとはずさ者もはいりさ
一月十七夜月

毎月
朔日
仏もちゝ
もちゝはなでせず
さいやん
五合汁
太こ
さいやん
ぬいは立つぶつてもあるや
九条
六七十ケ
通い

[illegible]

上覆そして仲成の七十人斗角サ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

麻布永坂上 西善医師 岡 哲之亟

馬具むなぐい

ぬたくめん

廣口ものの出る日

○京都御調達品もの

○京都御上ノ

○出羽ノ十万

○正月元日ノ出

○海軍ノ

出羽御上ノ

出羽ノ人

出羽ノ

出羽ノ

出羽ノ

○ちとせをゆるるものゆゑ
ぢく作えをよさるる
○神尾景長妻と妾と
○ちとせを作ふ
○ちとせを掘ふ
○ちとせをしのびげさ
掘ふ
○ちとせを夜ばい
いうなりとも作ふ
○あすはうりとも
らくになりり
○ちとせを出家
○ちとせを出家

○ちとせを作ふ
○ちとせを作ふ
性がさ
とるうつりさ作ふ
出家とも
作ふ
よれよりさ
○名出れる上品
○人のちとせ
部名うんずべ

○ちとせを作ふ
○ちとせを作ふ
○ちとせを作ふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二月朔日の時分より御子様戸をのけ
又いとんらるる
れいのうらひすあるをひだりいるさよさ目ざす
にてのびくなめあがってかそうだを
ゆきなりめるしかるに城ぐけ有
きつかふ中城
上野様松平 四月廿日 中城
多くの者角打
藤氏下地方地方よりセ角打ちよりの色
高田山いなり 三光の宮
○四月十五日 桃花 別城
桜花 南ちゃうぐ金ちゃう
てとるやうかとあ 自分
○地代衣之色そのものそうして
○桃花 桃
桜いさりすぎ
三月すくの時作
色迄なくさんこうまし
○二月 雲りこと隣ハ
ことるあらう
傳氏下ぢ
城下ぢ
騒をみる

二月三日　晴　[illegible]
少々[illegible]
り上

又　同　逆神きれこ出ル
うちのぐやあてこう上ル
もり立あとまい[illegible]

中ハ　[illegible]
[illegible]
日記[illegible]
[illegible]

二月三日　晴　[illegible]
少々[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

又貝[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○桃の花

桃の花[illegible]

[illegible]

桃の花[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○三月廿四日　晴　廿五日　晴　廿六日　晴

○馬ども　[illegible]

○上下　[illegible]

○金山　[illegible]

○世代文　[illegible]

二月十五日　[illegible]

八日　[illegible]

世代文　[illegible]

[illegible]

六日　晴　三月の世代文

城ハ米ノ退　[illegible]

世落者の物　[illegible]

[illegible]

[illegible]

○○○[illegible]

△井上[illegible]

[illegible]

[illegible]

二月十二日　晴　あさ四ツ時あれあり

○城内百三十人角ノ上覚ゑ書　御目見ゑ

○諸士中しんと　大小御上使

御茶屋組ゑ三人ゑ被　御茶屋組ゑ三人ゑ被

仰付　御目見ゑ

○内多羅義の中四ツ時ゑ

○赤井氏　おさらし氏　中のてら

○詰井氏　永川氏

桜井氏ゑ　少ゑ編ゑ

○はるゑ　ゑ

○はるゑ　ゑ

○はるゑ　

うすい茶のこうり茶碗で中もちを入れ申さるべし。茶のそんじ方一こつ一こつ丸めてちんで注ぎ申さるべ
うぎょうんや　伝ずべうずく
右十三ヶ条　御成
とる指分ち和州　上学院
九つ目ヶ言　玉泉寺
十丁むり　十丁斗とゆきてながらの川
敵対　堂禅寺
岩西徒
墓
いつかの松原
池
並
橋
路

○二月廿八日十四日こゝ[illegible]
[illegible]いち和尚法隆寺[illegible]水よび
[illegible]ん[illegible]ん[illegible]ん[illegible]ん[illegible]水のつ
よび[illegible]井戸水と
[illegible]ゆ[illegible]
○[illegible]

二月十五日[illegible]
[illegible]城[illegible]
○二月二日[illegible]
[illegible]

○[illegible]
[illegible]
○[illegible]
○[illegible]
○[illegible]

○大原より桃の花見ながらよさのゝこゝろはなしにてそろ〳〵
八ツ半過ぎこゝ中ハ八ツ半橋よりきの五六里のあるなれば
馬にてもかゝるべんりなれ共こゝ中きたぐんま
○表貴畏ゞ門○この尾山○淵田伊右衛門
○こゝろぞ〳〵山ちく　二十分
十七ツ半
九ツ半過ぎ桃の花見さんと思ひて出ての所
十七ツ半　墨ゝ見ながらゆく　味ひよ遅ゝ　三ツ半
しろ山ゝ　夜五ツ半過ぎ
天地見ごゝ　心
ちまくなるゝ　詩
又やすするといふ　多くと

ゝ　天のこゝろ時に詩ゝ　詩ゝ
一向ちがハぬ遅ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　

[illegible]

一 [illegible]ポンプ[illegible]ビン西洋幅[illegible]

二月十八日晴 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

二月十九日

十日 晴 八ツ半時分 江戸へ出立 諸藩不残 隊 調練 見るに付 すぐて大ぶ

中 隊 調練 見るに付 一ツ橋 調練

城 八ツ半時分 西ノ丸 仕舞

二十七日 女房 上野 花見 仕舞

十八日 晴 江戸へ出立 諸藩

寛十郎稽古場ニ二日おこたりは弟分たりとも宮ゑとなん
[illegible]
[illegible]
○廿一日　正午ゟ四ツ半ゟ四ツ時
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

二月廿一日　午

[illegible]

一　廿五日　今朝[illegible]
[illegible]
[illegible]

和歌山の下の谷の僧あんぎやう
あり。て画もめいよ[illegible]
世[illegible]の門長老の法と[illegible]
国くにひろく[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

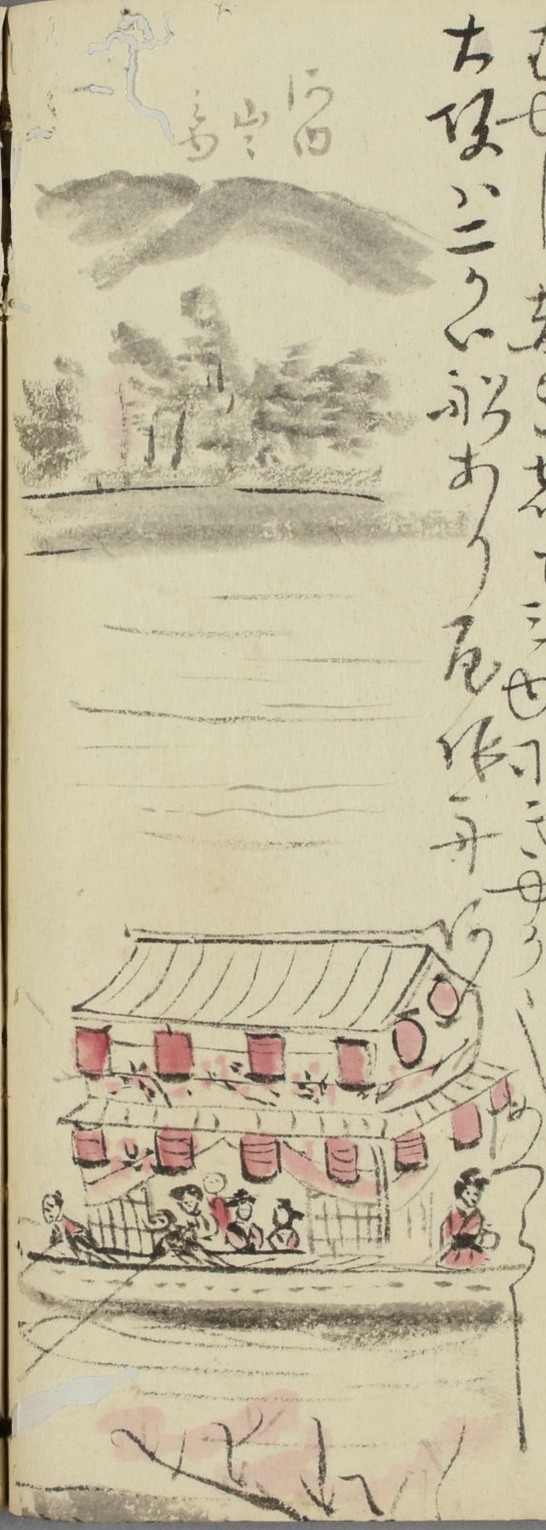
○[illegible]

二月廿四日　[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○


宿

桜の二七
よど川

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○大なる
ねぎのうれだのやくなぐさこん
姫人形とおもてあそびもてあつかひ
○桃の花の天地とともに流れて桜もまだ流れ
すゝ[illegible]の花四くさこまこゝろいとなのこと
田畑よさくりにさこでたり
[illegible]

○天の蒼ちかくなりぬ
○このちいさなうつくしうだてこれ
○[illegible]
付けはとやうなる
[illegible]
○天地乱れて見だ
[illegible]
○桃さくやくとそこのふとりは桜も
七ツ八ツ
[illegible]

[illegible]

○フランス　大の名　[illegible]

世界中の一の国となるべし　西イキリス国あり高四千[illegible]

つよさ[illegible]ものなれども日本の[illegible]

又さつまもそなるフランスイギリスアメリカオランダ[illegible]

高千[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三月五日晴　[illegible]

[illegible]

[illegible]

朝五ツ半過ぎ出船　この辺[illegible]

きたるむらくもの折れて白くなる　壮さい落合五里

北六町ばかりくだり　山中十二町ばかり　[illegible]

なり　[illegible]

[illegible]

見るもあるももく　[illegible]

大和国志貴の郡やつ天とや八重徒たるの
ち連なりて山のよぷくよりて谷口郡山下まで
四里ま山坂四十六町よりそんそく山の上をえれば
摂州河内両国の地と一目なるえてきれ
ごむんのごく又市ごむ又泉州堺の海ふるうよ四くこく山とこのれば又山のあるるよ大和
の地とこもらし其ゝこと又ゝりてびやりんのつよ山坂と上り
ちゆ堂よりて西ゝゆ高槻ゝ接さされ西ゝ接ゝ

ゝ接ゝ接ゝ接

夜

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○八日 [illegible]

○日記 [illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○[

○天子政ハ下ニ出ル事ハ七百年ヨリ多シ 彼の愚きなる
武家の為ニ奪ハレタル事 天子の天下
ニ一人の大臣ハ偏ニ愚ニ仕ル事 天地大用ニ
一位世ニ出ル事 小兒ニ愚ニ仕ル事 長ク
○世ノ人ハ痛風ニ成ル事 多シ
○さかり猿の病 痛風ニ成ル事 よめ菜ヲ
食スル事 多シ 仲頃義
一度ハ仕ル 又出ル事ハ金
三ツ
月十日 晴 昨日ハ雪降ル
○城ハ下ニ出ル 方角
○二月ハ 月の
の帰
月の
又ハ
○井氏ハ
月十
月

○横笛氏の物語并中なるもの一編を
○代々庭の下草にてはあらねどもちいさき花のなれば
さ一本こんの入とる方をそれあやめつゞきとなれる
ごこの花入とさ一本

三月十日
○花のこゝろと花と七色と
こゞうざとうとそれ
豆ひかりとて上るとて

古今
心してこゝろいとそれ春の花の
かり芝生ゝ
ちこうの秋ちとうつゝと
ゝそ小たにざくとは
あだん

○ある夜わらはの
ちるぐさをよきてくめん
ちるぐさ
昼見ゝ
ゝ町辺ちゝ
ゝ和ゝ

孫生土日つゞきゝ
ゝ自みちゝ
ゝ出ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

十三日 毎日雪降る時々晴

八ツ時より町歩行 [illegible] 移り さだてん沈うく一ツ所まで

十四日 [illegible] 城へ [illegible] 田ちなれた

[illegible] 心安き方 [illegible] 夕方居り酒 [illegible]

十五日 [illegible] 謡 [illegible]

[illegible] 日 [illegible]

[illegible] 沖 [illegible] 泊 [illegible]

[illegible] 奥 [illegible] 西 [illegible] 泊 [illegible]

[illegible] 根 [illegible] 通り 十四日

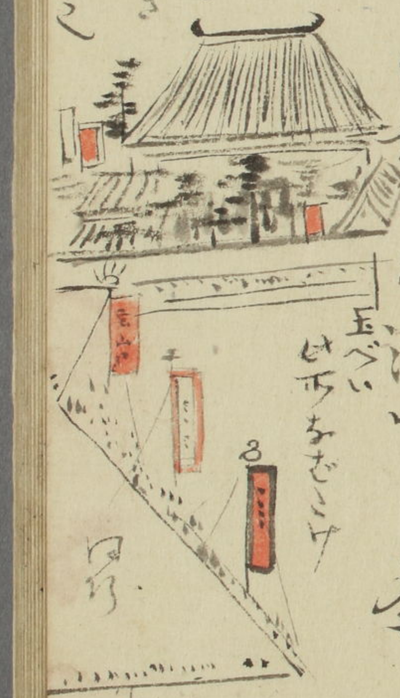
[illegible] 日 [illegible]

[illegible] 日 [illegible]

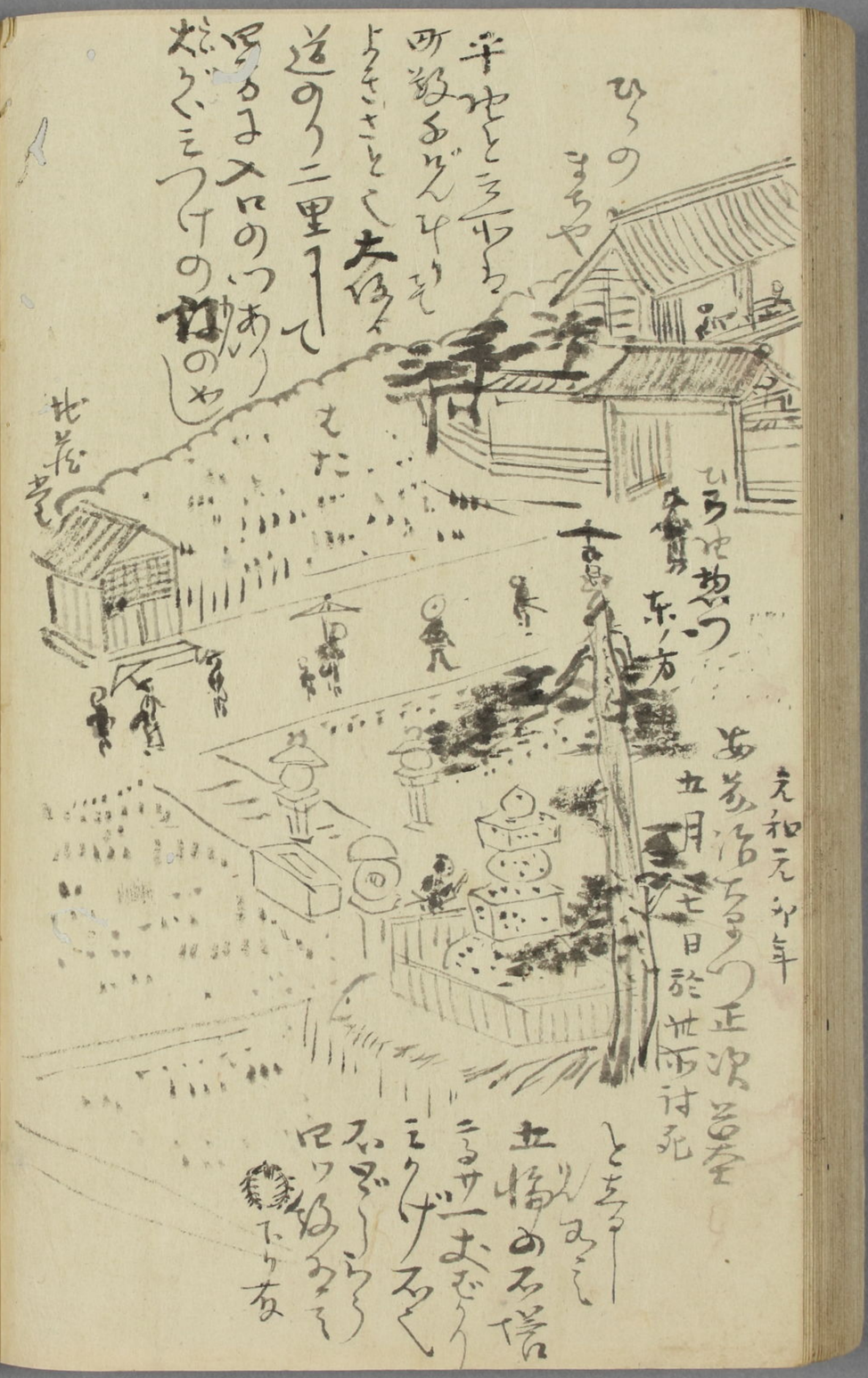
[illegible] 流 [illegible]

[illegible] 流 [illegible]

[illegible]



平地は大海なり
二里ばかりのうしろ
女
十町ばかり
社のうしろ
十七町ばかり
又社前
安養寺つづき正法の墓
社前
又社前
正月七日
天和元年
平地郷
大地



平野と云やうの所数ゑんひりそ
よりさきとく大坂
道のり二里
男女入口のつあり
炮ぐらつけの門のし

十七日 晴 城 内月天下ぢうん
のき能形 上巳ゑんこと石垣の
ゑんぐらの長さ四間十九ばり
八ツ半時 ゆ
ゆこと夕 仕ゑ
ゆこと色こ
松ゑん中ゆこと
ゆこと 中ゆこと
ゆこと 西ゑん

十八日 晴 朝夕ぢさむし
朝 時 きそ角五 ゆこと
夕こと ゆこと

○ちこのこと仕ゑ
池ゆこと ゆこと
てゆこと 中ゆこと

急用ること

[illegible]

[illegible]

[illegible]

よ及び山王権現を仏法世界の守護とし給ふ
世界の中心の須弥山の天と海の天と
世界の中心の天と海の天と一所に流れて行くもの
なくそれと土のなかの世界と一所に流れて行くもの
世界の中心の海の天と海の天と一所に流れて行くもの
世界の中心の天と海の天と一所に流れて行くもの
世界の中心の天と海の天と一所に流れて行くもの
世界の中心

[illegible]

流すとふるいうずだけてもそれば流るる
次ところ嵐らくつはたきさくさくせざれば流るる
桃のもも桜も流れてといいもみとなり菜のも芋なる
もとい田もまもこもまるくと流れたり牡丹の花
あるとこのるにもちぐれて仕ちたるけ
下ごとりけくささのも流れてはひるもよ
流るるこ口ふすつだりうり流れるいうもと見い渡
第一の川中ど忘れさつて行すもさ時用を
只人の時ことはめとなるも也
十みる時蒲昌
九月時後不下も

御目見

[illegible]

○此主[illegible]
○此[illegible]
上陸

三月廿九日 晴 三陸谷少白村ゟ後多
[illegible]城ハ一ヶ城ハ新城江[illegible]
[illegible]軍ハ運動[illegible]
御軍[illegible]惠隊二列ヶ但[illegible]
[illegible]

成ヶ山[illegible]

[illegible]

[illegible]

大家二ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
北[illegible]
[illegible]
[illegible]

もどりに又あをてみやげとて人をたのみて人をたのみ
やりまつさきにあるれどもあるよりはいとまをこ
○世ごろ　時
うるくやちかくなる時分姫はいかゝとうだとつれもどんを
おもひてあとにもとをあしてはいとまのやるこゝろ
ゝとたゞねおもふにはいとまの暇のやるこゝろ
弱へとそしくいたしてあるて自分おもひ
○夕方　方とも
夕方とも方とも
○夕方　夕方
夕方とも方とも
○夕方　夕方
夕方とも方とも
○夕方　夕方

[illegible]

[illegible]

[illegible]

五天と呼ぶ詳こ云てすてしこと
世根ートそ[illegible]よ[illegible]る斗家の[illegible]
たて[illegible]る家よ[illegible]さよあく[illegible]
ふこ[illegible]あり世[illegible]名さ[illegible]
ていそ[illegible]おいさ[illegible]よ[illegible]
世世[illegible]下て[illegible]なる中[illegible]
[illegible]る世[illegible]
さ[illegible]よ[illegible]
[illegible]

[illegible]
さう[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○ここに[illegible]

[illegible]

○ここに[illegible]

○[illegible]四月[illegible]池[illegible]

[illegible]